

## 本時のねらい

自分たちで選んだ企業について、調べたことやインタビューしたことをもとにプレゼンテーションを行い、選んだ理由やその企業が社会課題にどのように取り組んでいるかを紹介することができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

タブレット PC を活用して調べ学習だけでなく、Zoom を活用して取材を行うなど、企業で働いている人とやり取りを通して情報を得る。発表用のスライド作りや iMovie を活用したコマーシャル作りなど、生徒が表現できる幅を広げる。作成したスライドやコマーシャルを示しながら、班の中でそれぞれ発表を行い話し合うことで、生徒同士の対話量を増やすことをねらった。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC  
・Keynote

・プロジェクタ  
・iMovie

・Google Classroom

・Google Forms

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。</li> <li>○発表の流れや話し合う内容についてクラス全体で確認する。</li> </ul>	
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作成したスライドやコマーシャルを示しながら、企業を選んだ理由やその企業が社会的な課題にどのように取り組んでいるかをプレゼンテーションする。</li> <li>○発表内容について、知りたいことや聞いてみたいことなどを質問し、学習内容を深める。</li> <li>○代表者による発表をクラス全体で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末があることで、班ごとにプレゼンテーションを行うことができる。少人数で行うため、生徒同士の対話量を十分に確保することができる。</li> <li>・発表内容について質疑応答を行うことで、理解できていることや新たに調べることなどを見つけ出すよう促す。</li> <li>・質疑応答を行うことで、学習内容への理解をさらに深めることができる。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のねらいについて、気づいたことや考えたことなどを Google Forms に記入して振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Forms を活用することで、生徒の記入した内容を瞬時に一覽で把握することができる。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：企業の取組みについてまとめた内容を班で発表し、質疑応答している様子



写真2：作成したスライドをもとに、クラス全体で発表している様子



写真3：クラス全体での発表後に、質疑応答している様子

## 児童生徒の反応や変容

- ・個人や少人数で発表練習などの機会を多くとることで、相手がわかりやすいように発表するための工夫や改善を取り入れる生徒が多く見られた。また、多くの生徒が原稿を見ることなく、自分の言葉で発表できるようになるまで成長した。
- ・発表後に、聞きたいことや知りたいことなどについて質疑応答する時間をとることで、単なる発表で終わらせずに、発表者への新たな気づきを与えることができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

生徒自らが興味関心のある業種や企業を考え、同じ業種や企業を考えた仲間とグループを作ることで、キャリア教育に主体的に取り組む環境を整えた。また、自ら取材先を決定することで、広く情報を得ることも意識した。答えのない問いに対して、生徒と教員と一緒に探究することができ、総合的な学習の時間がめざしている探究のプロセスが実現できた。

探究的な学習と ICT は非常に相性が良いと感じた。生徒が主体的に学びに向かい、学習を深めることができた。